

利用促進の取り組みについてのアンケート集計結果

令和2年11月に当活性化協議会委員の皆様（利用者代表及び学識経験者）に、利用促進の取り組みについて今後提案したいテーマを伺った集計結果です。

○観光との連携

観光客が路線バスに乗り目的地へ向かうのはハードルが高く、路線が複雑でどのバスに乗ってよいのか分からない利用者が大半。東京都交通局が発行している路線図（都バス路線案内：みんくるガイド）は地図上に路線が描かれており、多い系統があるにも関わらず路線図を利用すれば、比較的簡単に路線バスで都内を巡ることが出来る。

○バス車両前面部の行先表示について改善の余地があるのではないか。

矢峰・黒髪 ⇒ 矢峰営業所・黒髪営業所と表示
矢峰営業所行きは ⇒ 労災病院・工業高校・大野モールの表示
黒髪営業所行きは ⇒ 大宮町商店街・日宇駅前
の表示にすれば利便性がアップするのではないか。

○利用者利便性の向上について

- ・乗り継ぎ制度の拡充と乗り継ぎポイントの明確化。
総合医療センター及び矢峰行きが多すぎるとの意見が多数ある。
乗り継ぎに対する理解が利用者に浸透していない。
- ・乗り継ぎ運賃の更なる検討
商業施設や公共施設、病院等を乗り継ぎ拠点として検討したらどうか。
街づくりとの連携が必要。

○バスロケシステムの導入

- ・佐賀市営バスでは平成30年3月30日より導入。
民間のシステムを複数のバス会社で相互利用する方式。
利用者がアプリを導入し、バス位置を確認できる。
従来型と比較し簡易型になっており、導入コストも安価で、営業所への問い合わせが減少している。

○MRの見どころマップのようなものをバスでも作成するなど、バス利用促進方法の提案を企画できないか。（長崎県立大学ゼミの企画提案）

○佐世保駅（バスセンター・JR） ⇔ 佐世保市役所間の往復循環バスをワンコイン（100円／回）で実証実験をしてほしい。

○通学・通勤時に1時間に1本でもいいので、大野－相浦間の増便をお願いしたい。

○敬老福祉パスの申請時に1000円徴収してはどうか。

○女性目線でのフォント

例えば、バスの掲示板など女性目線を意識した柔らかいフォントなどで掲載できないか。